

れいわがんねんど あおもりししょうがいしゃじりつしえんきょうぎかい
令和元年度 青森市障がい者自立支援協議会
 せいしんしょう しゃ ちいきせいかつしえん ぶかいきょうぎなどけいかほうこくしょ
〔精神障がい者の地域生活支援〕 部会協議等経過報告書

にちじ ばしょ 日時・場所	れいわがんねん すい 令和元年7月31日(水) 14:00～15:00 しあわせプラザ 2階研修室
さん か しゃ 参加者	【協議会委員】 ・津川委員 ・今委員 ・工藤委員 ・狭間委員 ・西村委員 【障がい者団体等】 ・地域活動支援センターやましろ 職員1名、利用者2名 ・地域活動支援センターすばる 1名 ・地域活動支援センター八甲 1名 ・青森県精神保健福祉センター 1名 ・芙蓉会病院地域医療連携室 1名 ・自立訓練所ほのぼの寮 1名 ・特定非営利活動法人サンネット青森 1名 【事務局】 ・障がい者支援課2名
けん とう じ こう 検討事項	・ピアサポーターの活用(方法・課題)について
いけん がいよう 意見の概要	○当事者の意見 ・作業所の中ではピア活動としてはできていないが、利用者同士として関わる中で、20～30分話を聴いたりしている。 ・初対面の人といきなり関わるのは難しいのかなと思う。交流を重ねる中でピア活動ができていければ良いのではと考えている。 ・ピア活動をする上での理念・基本姿勢があった方が良く思う。ただ話をするだけでなく、どの段階まで手助けできるのか、最終的に何を目標のか・目標とするのか共有が出来たら、ピアサポーター側もやりやすくなるのではないかと。 ○狭間委員 ・3月につくしが丘病院での2回目の活動を予定していたが中止になった。9～11月にチャンスがあればまたショートケアで話がしたい。 ・もう一人の当事者に病気の体験談を話してもらいたいとも考えている。 ○芙蓉会病院 ・デイケア内でボランティア養成を年3回実施しており、そこに当事者も参加している。プログラムの手伝いとしては当事者の方も参加できるのではないかと。 ・ピアサポーター側が何をしたいのかによって、デイケアでできる

か検討。

・定期で交流、体験談+相談会。今までは個別のみだったが、全体ではなかった。

・デイケア内で狭間委員に体験談を話してもらうことは対応可能。

○地域活動支援センターすばる

・地域活動支援センターの基礎的事業で月4~5回行事（創作、七宝焼き等）に定期的に参加している方が多い。日程や講師の調整等は職員が行い、当日の運営をピアの方が主導で行うことはできそう。

・地域でアパート生活している当事者の方で、隣人の世話をしている方が居る。発展させると一人暮らし高齢者への訪問等の活動に繋がる可能性あり。

・また、外出支援（市営バスの乗り方や買い物同行等）を行っており、その部分をピア活動でできれば、支援される側する側双方に良い効果があるのではないかと考えている。

・その際は本来なら契約を結び、報酬ありで活動できれば良いが、現段階ではそこまではできない。当面はボランティアで活動してもらい、実績を積むことが必要と思われる。

○特定非営利活動法人サンネット青森

・事業所内でのミーティングで、ピアサポーターとピアサポートは違うよね、という話が出た。

・形作られたものも必要だが、当事者同士の日常的な支え合いも必要。

・ピアサポーターが活動する上では枠組みが無いとトラブルに繋がる可能性もあるため、理念などはやはり必要と思われる。

○地域活動支援センター八甲

・地域活動支援センターの基礎的事業として交流の場の提供、日中活動（クッキング等）を行っており、その際にボランティアの方にも手伝ってもらっている。その部分でピアとしてサポートしてもらったりは出来るかなと思う。その際にボランティアとピアとの差別化をしっかりとしないと、とも思う。そのため理念・目的は必要かなと感じる。ボランティアには交通費を出している。ピア活動をしてもらう際はアルバイトとして時間給でできるかなあ、といったところ。

○ほのぼの寮

・受け入れは可能だが、何がしたいのか個々のピアサポーターによって違うと思われるため、その点のすり合わせは必要となる。

・ピアとしての雇用の話も出たが、雇用した段階で職員となるためピアサポーターではなくなるのでは？

	<ul style="list-style-type: none"> ・ピア活動を行う上ではボランティアやピアだけでは駄目で、職員も一緒である必要はあると思う。プログラムの中で行う事は問題なし。 ○精神保健福祉センター <ul style="list-style-type: none"> ・現時点ではピアの受け入れはない。プログラムの中で利用者同士は行っている。 ・デイケアを終了し、就労した方がボランティアでプログラムに参加したことはある。 ・行事の度に受け入れはできる（ボランティアと同じ位置づけ）。 ・家族セミナーも行っており、家族対象に体験発表をしてもらう事もできるかもしれない。デイケアにも通えずにいる方もおり、ピアが活用できる資源の一つになるのではないかと。 ○自立訓練事業所SUN（欠席：文書にて） <ul style="list-style-type: none"> ・通所型のプログラムの中でピア活動を取り入れることは可能。（午前中に勉強会、午後からピアサポーターと一緒にプログラムを行う等） ・雇用については対象者がいれば検討していく。 ○当事者 <ul style="list-style-type: none"> ・各センター等で交流をしながらピアとしての支援に繋がっていると思う。 ・すばるで行っているような同行支援は自分ではできない。1対1ではなく全体の中で個別にであればできると思う。 <p>※ピアサポーターを活用する上でマッチング機能が必要だが、現時点ではどこに依頼すれば良いのかが分からない。システム作りが必要と思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が取りまとめる？ ・過去に行ってきたピアサポーター養成講座参加者は各地域活動支援センターが把握している。当面は地域活動支援センターや部会委員を通してになるか。 ・今年度のピアサポーター養成講座にて参加者にピアサポーターとして登録するか、ピアサポーターとしての依頼をしても対応可能か等アンケートをとってみてはどうか。
<p>き 決 ま っ た こ と</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回いただいた意見を元に次回部会でまとめ、都度意見交換を重ねていく。
<p>そ の た 他</p>	
<p>さ く せ い し ゃ 作 成 者</p>	<p>していそうだんしえんじぎょうしよあおもりちゆうおう にしむら 指定相談支援事業所青森中央 西村</p>

